



糖尿病タイムズ



第1号（平成28年5月23日発行）

「糖尿病とは？」

インスリン作用不足による慢性の高血糖状態を主徴とする代謝疾患群です。

糖尿病という名前の由来は、「甘みのある尿が出る」というDiabetes Mellitusの日本語訳です。通常は尿中に糖が出てくることはありませんが、血液中に糖が増えすぎると尿にあふれてきます。しかし、実際の糖尿病検査では尿中の糖ではなく血糖値を調べます。血糖値が問題の病気なのです。



血糖値というのは、血の糖の値すなわち血液中にブドウ糖がどの程度含まれているかというものです。ブドウ糖は身体の機能を正常に働かせるエネルギーです。高血糖というのは、血液中にブドウ糖がたくさんある状態です。それならばエネルギーがたくさんあっていいじゃないかと思われるかもしれませんが、そうではありません。血液の中にあるだけではだめなのです。細胞内に取り込まれて、初めてエネルギーとなります。

血液中のブドウ糖を細胞内に取り込ませるのがインスリンです。インスリンというのは、膵臓で生成・分泌され、ブドウ糖を細胞内に取り込む作用があります。

慢性的な高血糖は眼や腎臓などの全身の血管の動脈硬化や、神経障害などの合併症を引き起こします。



糖尿病初期には自覚症状がほとんどありません。定期健康診断や人間ドックなどは定期的に受けるようにしましょう。口渇、多飲、多尿、体重減少などの自覚症状があったら、血糖値がかなり高くなっている可能性があります。

＜糖尿病療養指導チーム＞

糖尿病・代謝内分泌内科医師3名、眼科医師3名、薬剤師2名、看護師8名、管理栄養士1名、臨床検査技師2名、医事課1名

♪♪みんなで一緒に歩きませんか♪♪



5月29日（日曜日）、みよしぶどう友の会主催のウォーキング大会を開催します！！
糖尿病患者様、ご家族様の参加をお待ちしています。

＜編集後記＞

糖尿病・代謝内分泌内科の馬場です。糖尿病タイムズ第1号が出ました。糖尿病について、あの時こうすれば良かった、知っておけば良かったという後悔がないようにもっと糖尿病を知ってもらいたいです。これからもよろしくお願いいたします。



糖尿病患者会「みよしぶどう友の会」会員募集中！
詳しくは事務局（医事課）までお問い合わせください。

発行元：糖尿病療養指導チーム
文責：馬場 隆太